

青年ボランティア 清掃進める



清掃活動を進める青年ボランティア



集めた泥や瓦礫を運ぶ青年

8月18日、神奈川の全国の民主青年同盟（民青）と神奈川の日本共産党後援会の31人が災対連のボランティアに参加し、石巻市門脇町にある西光寺の墓の汚泥の除去、瓦礫の撤去作業を行った（3度目）。

汚泥は乾燥して舞い上がり、重い墓石が折り重なっている状況の中での作業だった。

瓦礫を運んでいた民青のボランティアの青年は「新潟中越地震のときもボランティアをしたが、石巻の被害は中越よりもはるかに酷い。滞在できる限り精一杯頑張ります」と語った。

救援物資お届け隊 牡鹿へ



泊浜で三浦市議（右）から笑顔で救援物資を受け取る松川区長（左）

8月18日、三浦市議と水沢市議を先頭に東京、千葉、神奈川の日本共産党の支持者や後援会員20人が牡鹿半島へ救援物資を届けた。

午前中に月浦と荻浜の仮設住宅へ向かい、米や野菜などの食料と衣料品や食器類など日用品を25人の住民の方々に配布。

午後は最初に訪れた泊浜で



物資をトラックから下ろすボランティア

40世帯分の救援物資を手渡し、松川区長から歓迎の挨拶を頂きました。その後、旧大原中学校跡地にある谷川仮設住宅20人に物資を手渡した。

千葉県千葉市から参加した中村公江市議は「非常に細かく物資を配っている印象がある。地元を知り尽くしている三浦、水沢両市議だからこそできること」と感心していた。



物資を受け取る仮設住宅の方々